

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふじらぶホーム		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日		～ 2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同法人内の幼稚園との連携	<ul style="list-style-type: none"> 定期的かつ迅速な情報共有 幼稚園行事へのサポート 	定期的な情報共有の継続
2	音楽療法を用いた療育	<ul style="list-style-type: none"> 個々の成長に応じた療育プログラムの実施 子ども達みんなが楽しめる音楽プログラムの考案 	チームでのプログラムの共有
3	愛情豊かな療育	<ul style="list-style-type: none"> アイコンタクト、スキンシップを行い、個々との関係を大切にしている 個々のニーズに沿った適切な療育の実施 	継続して、関係や理解を深めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	計画の中に移行支援に対する記載なく、保護者様より不明瞭だと指摘を受けた	移行支援に対する記載が不足していた	年度末に一番近いモニタリング時で移行支援に対する支援内容を保護者様に提示するようにします
2	家族、兄弟への支援が不足している	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会は定期的に開催しているが、参加者が少ない 兄弟向けのイベント等、広げられていない 	幅広く参加して頂けるような行事、イベントを考案していきます
3	人数が増えてきて、予約が取りづらい(行事の時など)	ご利用人数が増えた	行事には、平等に参加して頂けるよう考えていきます

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	1	1	<p>保護者に寄り添った助言を行って頂き感謝しております。</p> <p>しかし、時々ですが先生方の表現が受け取る側からすると適切でなかったり、誤解を招きかねない言葉で密かにグサッとくることがあります。これについては他の保護者からも同じ意見が出ております。</p> <p>私もかつて小学校で教員をしていた経験から、先生方が保護者を傷つける意図がないことなどは十分に理解できますが、幼稚園教諭や保育士など経験が長くなるほどその感覚が鈍ることはあると思います。ですが、ふじらぶは特別支援を必要とする子供たちが利用する場ですので、その保護者は一般の保護者より敏感であることも改めて認識して頂きたく存じます。</p> <p>心理学的用語で「人質の心理」というのですが、子供がお世話になっているところに意見をすると、自分の子供だけが不利益を被るのでは？という心理から、思っても言えない保護者も多いです。</p> <p>ふじらぶの先生方は立ち上げ当初から特別支援の勉強を熱心にされ続けておられ、ふじらぶをよりよい事業所にしようとしていらっしゃるお姿には感謝の気持ちでいっぱいです。</p> <p>ですので、さらに質の高い事業所になっていただきたく、今回のアンケートでこのような意見を書かせて頂きました。</p>	<p>今後も、個別のご意見に対しては、真摯に受け止め、迅速かつ丁寧に対応させて頂き、ご理解頂けるように努めます。貴重なご意見、ありがとうございます。</p>	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1			今後も継続して取り組んでいきます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	2	1	2		幅広く参加して頂けるような行事やイベントを考案していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27			1		今後も、迅速な対応ができるように努めていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1				継続して、お手紙やSNS、電話等で行い、情報共有を図っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	2				今後も継続していき、情報共有ができるように取り組んでいきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26			2		引き続き、職員全体で周知、徹底を行っていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26			2		今後も職員間でマニュアルの周知徹底を行いながら、見直しを実施していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25			3		事業所内のマニュアルをもとに、訓練の実施の様子を情報共有できるように取り組んでいきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28					引き続き、安全面に配慮しながら、安心して過ごせる環境を作っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	2		2		衝突や怪我に繋がる事案が発生した場合、速やかにお電話にて状況と対応をお知らせしています。
満	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	27	1				今後も、楽しく安心して過ごせる環境作りをしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	1				今後も環境調整やプログラム内容の工夫を行い、より楽しく通所ができるように取り組んでいきます。

正 度	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1		<p>予約が固定されていないのは良いところでもあるが、なかなか予約が取れない状態だと感じています。 特に行事（夏祭りや餅つきなど）予約が取れれば参加できるが参加できないことが多々あると感じています。</p> <p>様々な行事への参加や人数の調整を考え、満足して頂けるよう努めていきます。</p>
--------	----	------------------	----	---	--	---

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ふじらぶホーム		公表日		2026年 2月 10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		適切な定員とスペースを確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		子どもの状況に応じた配置を行っている	今後、利用者様の増加に伴い、配置が難しくなる状況も考えられる為、対策が必要になってくる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		設備の配置等、状況に応じて適宜に改善し、対策を行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		子ども達の活動に合わせた空間作りをしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		必要があれば個別の部屋も使用できるが、一人にならない環境作りをしている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		ミーティング等、職員全員で行うようしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員全員に周知徹底し、改善を図っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日、情報共有の場を設け、改善に繋げている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	第三者による外部評価は行っていない	今後、必要に応じて検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月、研修の時間を設けている。個別の研修については共有の場を設け、個々の技術や知識を深められるよう努めている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		日々の支援内容は、個別に公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	5		面談や日々の子どもの様子を職員間で共有し、その情報を計画に反映させ作成している	
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員間の情報共有は積極的に進んでおり、子ども最優先の検討を行っている	
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		しっかりと書類を確認する時間を設け、共有の為にルーティンを作っていく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	どちらも積極的に活用し、支援に繋げている	
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		支援計画は具体的な内容となるように心がけて、作成している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員それぞれが立案できる環境を整えている	今後も継続し、具体的な支援内容を設定していく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		積極的に新しい取り組みを取り入れている	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5		それぞれの状況に応じて、作成している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	職員それぞれの強みを活かし、連携を取っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後、振り返り等の情報共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々の記録は必ず行っており、支援の検証、改善に繋げている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		モニタリング時の聞き取りや日々の様子を含め、適切に見直しを実施している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4	1	ガイドラインに沿った支援内容を取り組み、引き続き行っていく	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		自信で選べるプログラムの取り入れを今後も継続して行っていく	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		電話等による定期的な情報共有の実施	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	地域との関係機関との連携、特に同法人内の幼稚園との円滑な連携	
	28	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		今後も継続して行っていく	
	29	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		今後、機会があれば積極的に行っていく
	30	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		5		対象児童がいない為
	31	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		同法人内の幼稚園とは密に情報共有が出来ている。 各事業所とも関係構築に努めている。	
	32	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		対象児童がいない為
	33	(33～35は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	34	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	35	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
36	(36は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		今後、機会があれば積極的に設けていきたい	
37	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流（放課後児童クラブや児童館との交流）や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		幼稚園での交流、園庭遊びの実施		
38	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々の記録やSNSを通じ、状況の把握を行っている		

	39	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		定期的な家族会を実施している	保護者様向けの研修等に関して、今後、検討していく
保護者への説明等	40	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		書面を作成し、わかりやすく伝えられるよう努めている	
	41	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		今後も継続して行っていく	
	42	「児童発達支援計画」（「放課後等デイサービス計画」）を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		今後も継続して行っていく	
	43	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		今後も継続して行っていく	
	44	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		幅広くは参加していただけないのが現状ではあるものの、今後、内容等について検討していく
	45	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	相談や申し入れに対して、迅速な対応に努めている	
	46	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		ホームページやSNS、お手紙等を活用し、幅広い情報発信に努めている	
	47	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		今後も取扱いには十分配慮していく	
	48	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		配慮が十分でないご意見をいただいた場合も、対応を見直し、改善する努力を続けていく	
	49	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		卒業された児童を招待していきたい
非常時等の対応	50	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		訓練の実施は、ご家族様に周知している	職員間でのマニュアルの周知をしていく
	51	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的な訓練は行っており、今後も継続して行っていく	
	52	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	アセスメント等で、状況の確認に努めている	
	53	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	アセスメント等で、状況の確認に努めている	
	54	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		今後も継続して行っていく	
	55	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		今後も継続して行っていく	
	56	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		今後も継続して行っていく	
	57	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		今後も継続して行っていく	
	58	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に記載しているか。	5			身体拘束を伴う事例はないが、今後、発生した時の為に職員間での情報共有は必要となる為、今後検討していく